

## 植物多様性センターの「クリの木レストラン」

ブナ科の植物は、コナラやクヌギのように展葉前に風媒花をつけるものが多いですが、クリは野山がすっかり青々とした初夏に花を咲かせます。明度の高い白い花を葉の上に咲かせることで遠目からもよく目立ち、さらに蜜と強い香りで昆虫をひきつけます。咲く時期とデザインが少し違うことで、同じ尾状花序でも虫媒花として訪花昆虫にアピールしているのです。



開花の状態：新梢の枝先に白く長い尾状花序をつける



尾状花序の根元に総苞(若いイガ)に包まれ雌花が3個つく



トホシオサゾウムシ

ダイミョウセセリ：長い口吻を花序に挿し入れて蜜を吸う



ハムシの1種

シロテンハナムグリ：こそげるように口を動かして蜜を舐める